

誕生日

マンガ / 鞠音

わが家のすこやか日記

作品

高校生部門

毎年誕生日に母と話す会話がある。生まれた時の話だ。母は私たち3人兄弟の生まれた時間やグラム、おなかの中にいた時のことを細かく覚えていて、当たり前。」と笑うが、私はまだよく分からない。でも、こういった話は何度聞いてもあきず、自分に自信が持てる。この家に生まれてよかったと心から思う。私の目標は両親のような人になることで、自分にも子どもができたなら、誕生日には生まれた時の話をしようと思った決めている。

